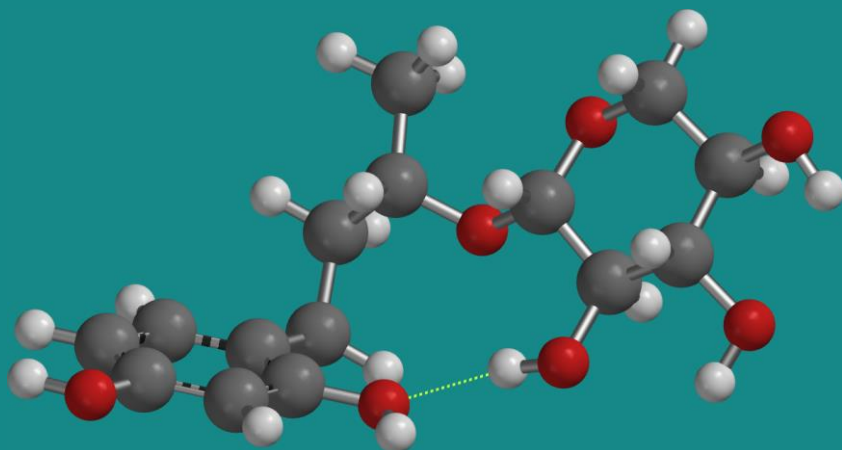


立体的に考える分子化学

—化合物をつかって、つかって、酵素反応を止めよう—



日時

8月5日(土)

9時—17時30分

(8時30分受付開始)

参加費無料

会場(担当者)

宇都宮大学農学部

応用生命化学科(二瓶)

なんとなくわかる、 分子が立体的であること

このプログラムは、皆さんにくすりのような化合物をつくらせ、そして、酵素反応を使って、その効き目を調べてもらうという体験型の内容になっています。したがって、**農学**だけでなく、**薬学**や**理学**などに興味がある生徒さんも十分楽しめるはずです。

「酵素」としては、チロシナーゼを使います。日焼けなどで肌が褐色になるときに、この酵素が働きます。「くすりのような化合物」は、当研究室で開発した最新有機分子の一つで、皆さん自身で、その化学合成の工程を体験してもらいます。

今まで、昆虫の食欲をなくしてしまう化合物やカビの形を変えてしまう化合物などの研究を行ってきました。皆さんが実際につくる化合物も、もしかすると将来、細胞の色を変えるために使われるかもしれません?!

お申込み・お問合せ

tokimeki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

028-649-5399(石川)

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>

7月28日(金)締切(定員20名, 先着順)

